

令和2年度 第1回 四街道市生涯学習審議会 会議録

日時：令和2年10月8日（木）10時30分から11時50分

場所：四街道市役所第二庁舎2階 第2会議室

出席者：

（委員） 江崎俊夫（会長）、永井壽子（副会長）、吉田英夫、佐藤光江、渡部洋、酒井壽夫、川口一美、賀川恵美子、調知博

（事務局） 佐渡斉市長、濱田宗孝教育部長、真田裕之社会教育課長、渡邊弘之課長補佐、田島衣織社会教育主事兼係長、西崎寛子主任主事

1 開会（開会の言葉：真田社会教育課長）

2 市長挨拶（佐渡市長より挨拶）

3 委員及び職員紹介（真田社会教育課長より出席委員及び職員の紹介）

4 会長及び副会長の選出（会長：江崎委員、副会長：永井委員）※市長・教育部長退席

5 会議の公開等について

江崎会長の議事進行により、以下についての承認を得る。

①会議は公開とする。

②会議録の作成については、発言者名を明記し、要点筆記とする。

③議事録署名人については、会長・副会長を除いて名簿順に2名とする。

④傍聴者を確認し、傍聴者はなし。

6 議事

江崎会長 それでは「四街道市生涯学習推進計画（第3次）の進捗管理について」事務局より説明をお願いします。

田島係長 — 事務局説明 —

江崎会長 ただいま事務局から説明のあった件について、ご意見ご質問はございますか。

調委員 生涯学習推進計画は令和元年11月に策定されており、年度途中となります。今回の調査では11月以前の部分についても調査対象とするのですか。

田島係長 進捗管理の工程では年度ごとの調査となっておりますので、今回の調査では令和元年度分、平成31年4月から令和2年3月までの分を想定しています。

調委員 計画ができる前の11月以前の部分は答えづらいのではないですか。

田島係長 前回の計画は平成 31 年 3 月 31 日で切れてしまっておりますが、事務局で調査票は 1 年をとおしてのもので問題ないと判断いたしました。

江崎会長 今回の計画の策定が令和元年 11 月だったために、平成 31 年 4 月から令和元年 10 月の間が空白期間となってしまっていますが、その分も遡って担当課へ調査するということですね。この部分について担当課より疑問が出た場合は事務局で対応していただけるのですよね。

田島係長 対応します。

調委員 資料 2 について、今年度は調査開始初年度なので例年と違うと思いますが、今後、令和 3 年度以降はどのようなスケジュールで調査を行う予定なのですか。調査の結果が出て、それを見てどう次年度に反映するか決まると思います。そのため調査のタイミングは重要だと思います。

田島係長 今回の調査結果は 1 月中旬ごろに出る予定であり、その際にまた皆様にご意見をいただく予定です。  
その時に令和 3 年度以降のスケジュール案を提示し、皆様にご意見をいただいたのち、庁内に周知します。

調委員 次年度の計画を立てる際に参考とできるよう、然るべき時期の調査をお願いします。

田島係長 庁内でのこういった調査は秋の予算編成の前、6 月ごろに行われることが多いです。次年度に生かせるよう適切な時期に行います。

江崎会長 形式的なものではなく、中身のあるものにしようというご意見でした。  
その他、資料 1 - 1 の裏面、視点効果の効果内容についてご意見はございますか。

吉田委員 心配なのは、新型コロナウイルスの影響で内容が例年と違い、書きづらいのではないかということです。

田島係長 社会教育課にも他課からの調査がきていますが、新型コロナウイルス等の影響で中止になる事業も多く、昨年から今年度はどの報告書も今までにない形になるのではないかと思います。

江崎会長 元年度については 2 月ごろから新型コロナウイルスの影響が出始めたと思いますが、その影響等もそのまま結果としてこの調査票に記入していただくということですね。令和 2 年度は事業中止も多く、次年度の調査では効果が d の効果なしが増えてしまうように思いますがいかがでしょうか。

田島係長 今回の調査によって、新型コロナウイルスに対して対策をとったり、新しい方向性が生まれたりしていることもあると思います。

調委員 視点効果の a・b・c まではわかりますが、d だけ他と差がありすぎる気がします。d は「その他」のようにして理由をもらったらどうでしょうか。

吉田委員 計画通り行ったのに効果が出なかったのか、新型コロナウイルスの影響で事業が行えず効果がなかったのかは違うと思います。

調委員 効果なしの表現は変えたらどうでしょうか。

田島係長 事務局としてご意見を承ります。

賀川委員 調査票の書き方ですが、視点効果ごとに評価は違うのではないのでしょうか。例えば a は 9 割達成したが、b は 3 割程度だったなどの場合です。

田島係長 視点効果ごとに評価があったほうが良いということですよ。書き方については検討いたします。

渡部委員 調査票の 4、施策の展開に赤字などで新型コロナウイルスの影響を記載してはどうでしょう。

田島係長 併せて検討いたします。

調委員 実施評価の中で、何割以上という割合を設定していますが、目標値がない中、何をもって何割以上達成とするのでしょうか。

渡部委員 担当者の意見ではなく課全体の意見ですよ。

田島係長 通常こういった調査は各部長の決裁となります。最初に作成するのは担当者ですが、最終的には部長までの決裁をとることにより、各部のこの事業はどの程度達成できたかという相対的な意見があがってきます。

佐藤委員 この調査はあくまで市の意見が出てくると思います。私がいつも思うのは、現場の声をどのように吸い上げ、担当課は回答しているのかということです。

江崎会長 市としての一方的な立場での意見ではなく客観的な評価だということですね。

吉田委員 担当課も評価をする際、その事業を行ってみて、市民の反応等を見たうえで判断

しているので、信じてもいいのではないのでしょうか。

江崎会長 各課に調査を依頼する際の提示の仕方もあると思いますので、そういった対象となる市民の反応も十分加味したうえで判断してくださいというような形での提示の仕方等を事務局は検討してください。  
その他ございますか。

調委員 今回の調査は業績評価のようなものとはリンクしていないのですか。

田島係長 事務事業評価はホームページ上に掲載されていますが、同じような調査・評価をしても意味はないと考えましたので、あくまで今回は生涯学習の視点としての評価をし、検討したいと考えています。

調委員 そういったものとはリンクしていないということですね。

田島係長 全体的な事業の評価については似てくると思います。

江崎会長 その他ございますか。  
ないようですので、次の議題に移ります。「四街道市生涯学習推進計画（第3次）のダイジェスト版について」事務局より説明をお願いします。

田島係長 ー 事務局説明 ー

江崎会長 ただいま事務局から説明のありました件について、ご意見ご質問はございますか。

賀川委員 イラストによつぼくんをもっと入れるなど、四街道らしさがでるといいと思います。

川口委員 QRコードを入れ、読み込むと生涯学習の説明のナレーションが入る等、初期投資があまりいらぬ形で工夫したらどうでしょう。

佐藤委員 動画はいいアイデアだと思います。情報を受ける側としては、文字がたくさんで難しいものは…とってしまうので、市民目線でもう少しやわらかい情報発信があるといいと思います。

永井委員 動画は市民が市政を身近に感じられるのでいいと思います。

川口委員 動画に成果の発表や実際に関わっている人たちの生の声が入るといいですね。頑張っている人たちの脚光を浴びる場としてもいいと思います。

賀川委員 楽しければ子どもは見るので、例えばよつぼくんを出したり、楽しいと感じる要素があったりすると広がり早いと思います。

調委員 折角QRコードを付けるなら、計画書にも飛ぶようにしてほしいです。

江崎会長 色々なご意見が出て、すべて受け入れるということは難しいと思いますが、事務局はできる限り検討してください。

田島係長 ドラマチック四街道を制作している課もありますので、今出た内容をお伝えし、まずはどのようにやっていけるかも含めて検討していきたいと思います。

江崎会長 審議は以上ですが事務局から何かありますか。

田島係長 本日の議事録とともに、今日出たご意見を盛り込んだ調査票の修正案を皆様に送付します。

江崎会長 では事務局はそうのようにお願いします。それでは6の議題を終了し、議長としての任を解かせていただきます。

## 7 その他

- ・永井委員より市主要施設のインターネット環境について意見が出たため、担当課へ情報提供することになった。
- ・田島係長より次回会議予定の連絡があった。

## 8 閉会（閉会の言葉：真田社会教育課長）